

6. 現状の災害対応上の課題の整理

4章での伝達情報の整理及び5章での伝達手段の整理により、災害情報共有システムを組み込んだ災害対応業務モデルを構築する条件が整った。一方で、現状の災害対応においては情報伝達作業等で様々な課題を抱えている。このため、業務モデルの構築にあたり、これらの現状の課題を解決することも考慮する必要がある。

そこで、本章では、現状で抱えている災害対応の課題、その中でも特に災害情報の伝達・共有に関する課題を整理するとともに、その解決の方向性を検討する。

この結果を7章で構築する災害対応業務モデルに反映する。

災害対応における情報伝達上の個別課題は「収集時」「報告時」「共有・指示判断」のそれぞれの局面で発生している。ここでは、各個別課題を大きくグルーピングしたうえで、解決の方向性を「体制・運用に係る問題点」および「既存システムやツールを用いた問題点」の2つの視点から検討し、「収集時」「報告時」「共有」「指示」の局面別に整理した。検討結果は、以下に示す4つの災害対応のフェーズ毎に示した。

- 災害発生時（地震の感知・体制の発令・関係先への連絡） 図 6—1
- 初動活動時（所管施設の被害状況の把握） 図 6—2
- 対策検討時（他機関との協議・調整） 図 6—3
- 応急復旧時（緊急対策の実施） 図 6—4

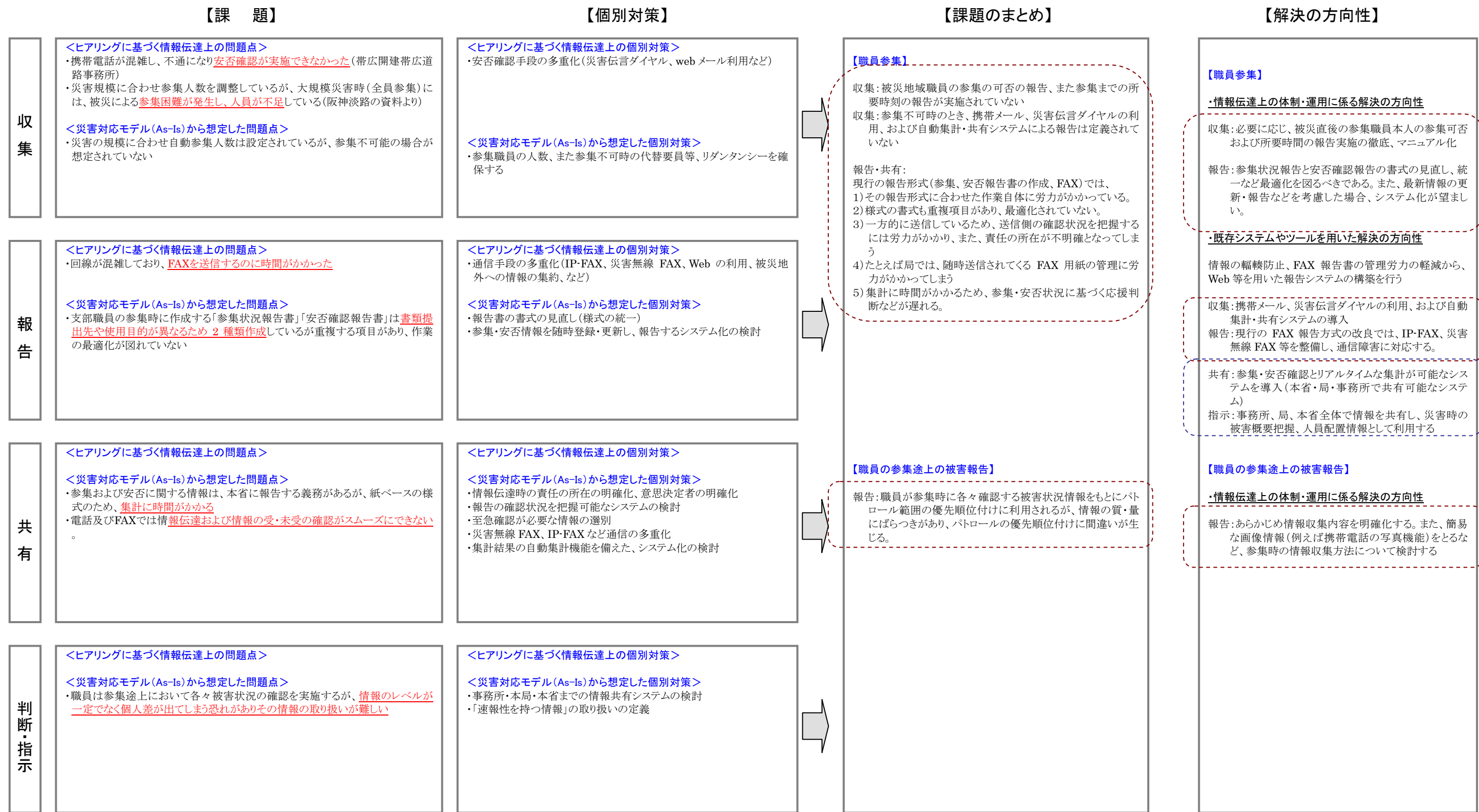


図 6—1 災害発生時の課題と対策(地震の感知・体制の発令・関係先への連絡)



図 6-2 初動活動時(所管施設の被害状況の把握)の課題と対策

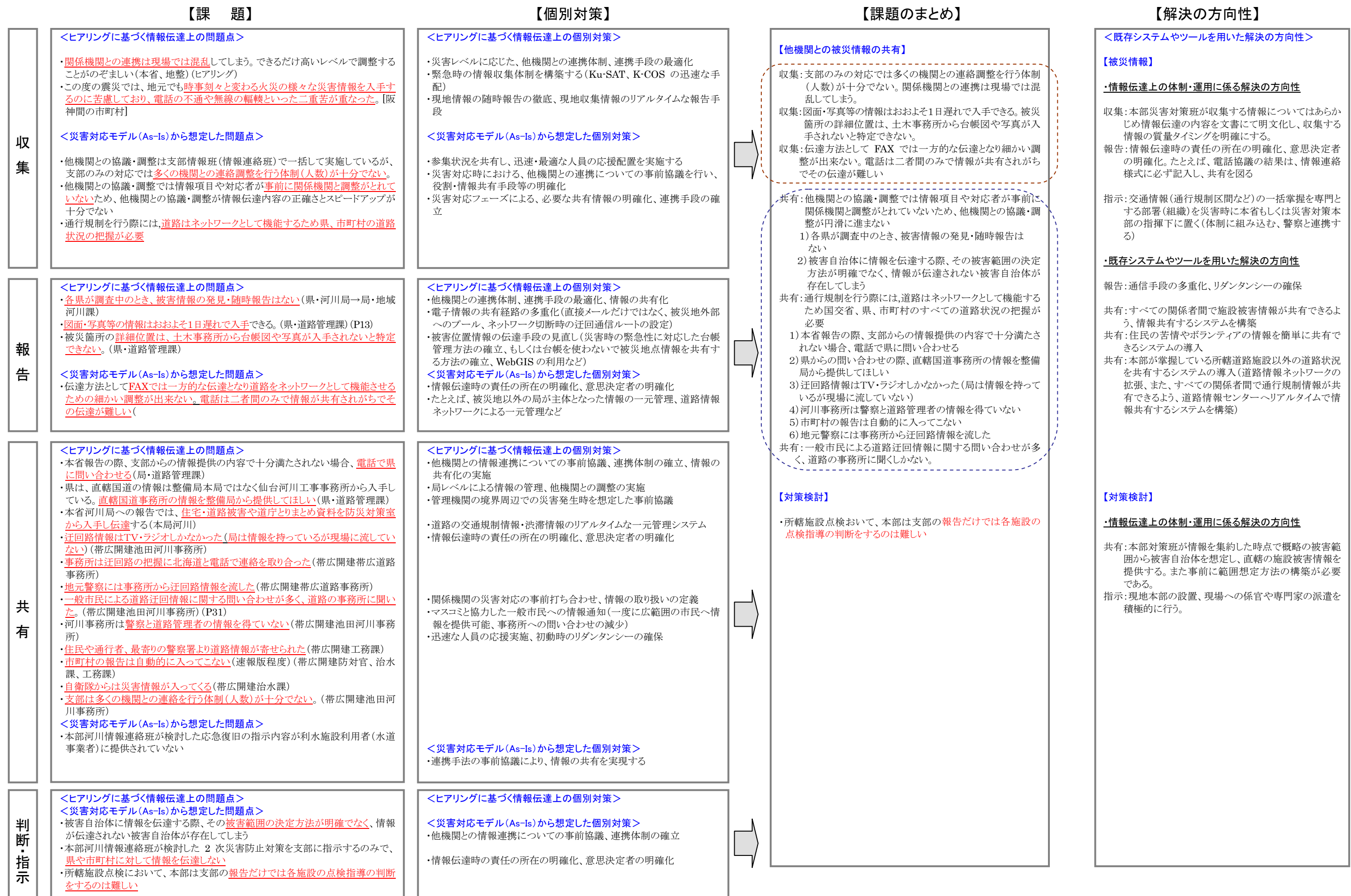


図6—3 対策検討時(他機関との協議・調整)の課題と対策

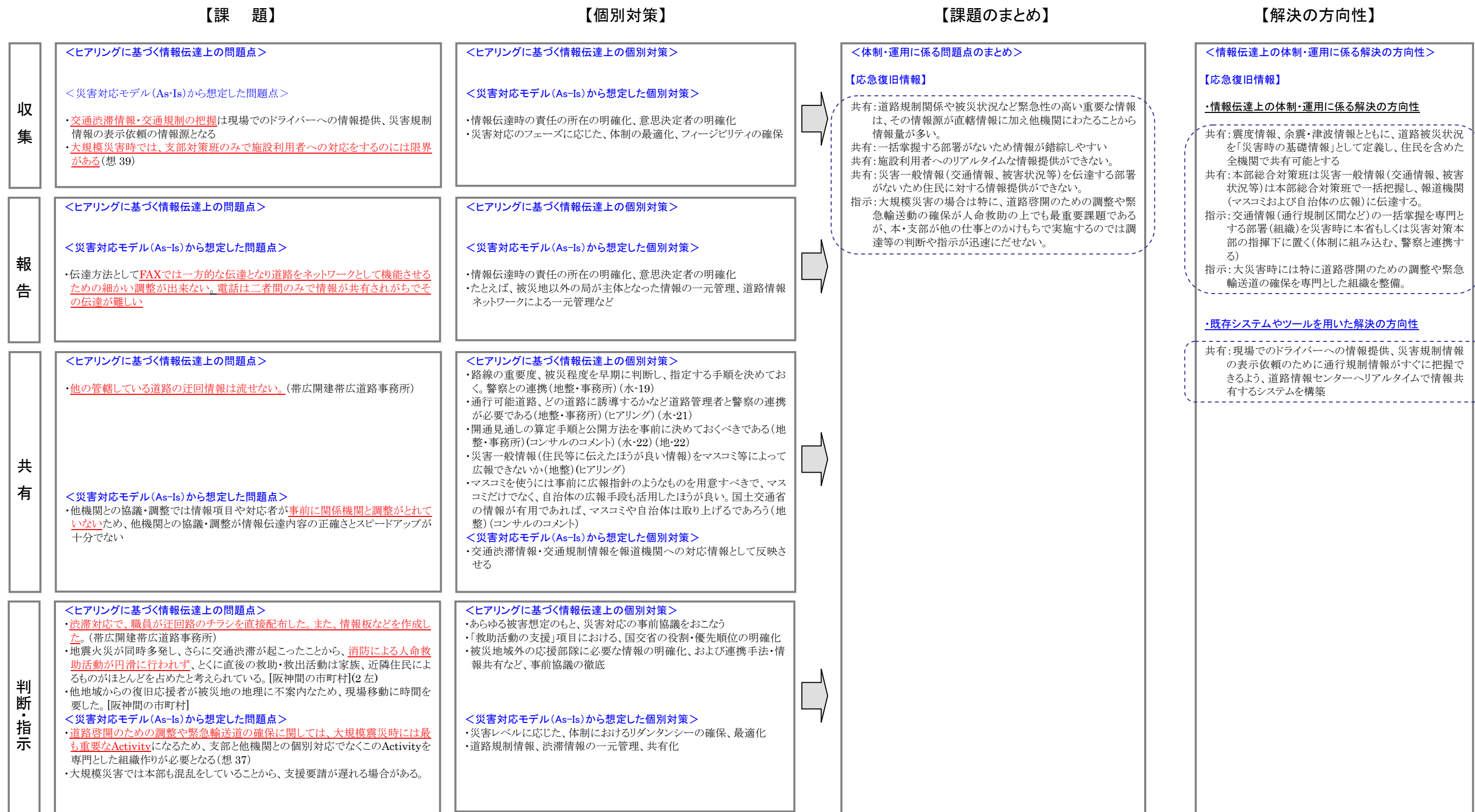


図 6—4 応急復旧時（緊急対策の実施）の課題と対策